

# 財務ハイライト

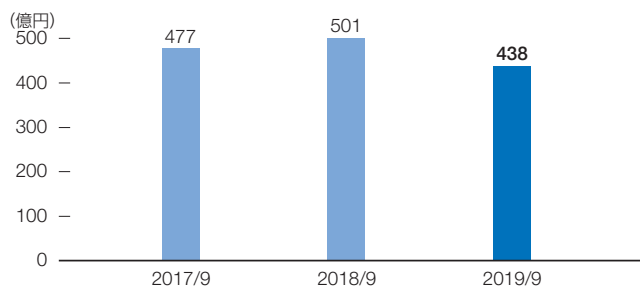
## 2019年度 中間決算の ポイント (連結)

- マイナス金利が続く厳しい環境のなか、事業支援活動などによる貸出金の増加に努めましたが、有価証券利息や株式等の売却益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比62億円の減少となりました。
- 経常費用は前年度に計上した米国債の売却損や外貨預金利息の減少などから、前年同期比59億円の減少となりました。
- その結果、経常利益は前年同期比3億円減少の93億円、親会社株主に帰属する中間純利益も前年同期比3億円減少の63億円となりました。

### 利益の状況 (連結)

#### 経常収益

438億円  
(前年同期比 62億円減少)

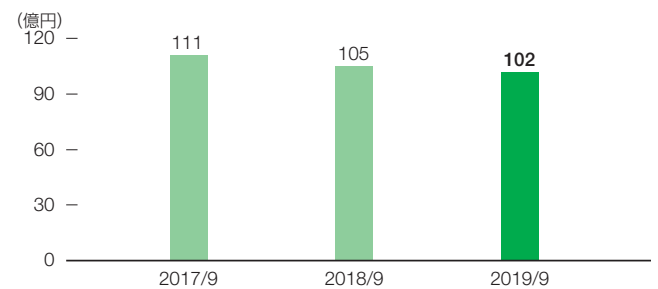


### 利益の状況 (単体)

#### コア業務純益

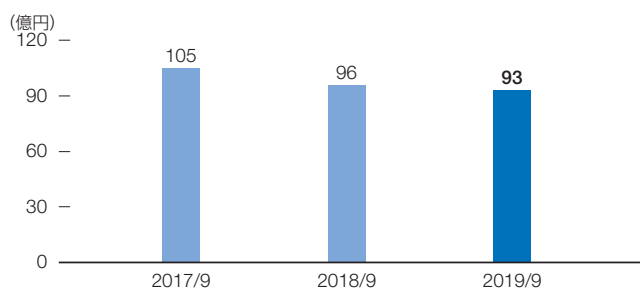
(本業における純粋な利益)

102億円  
(前年同期比 3億円減少)



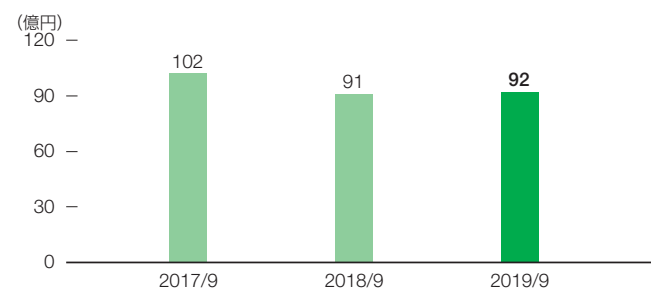
#### 経常利益

93億円  
(前年同期比 3億円減少)



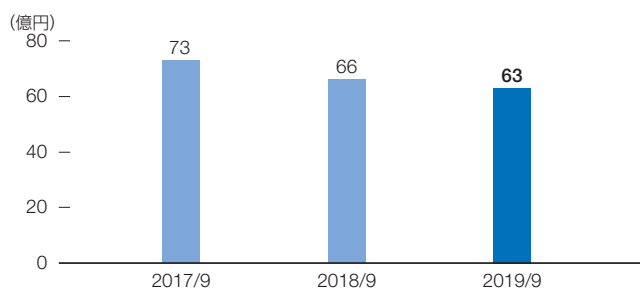
#### 経常利益

92億円  
(前年同期と同水準)



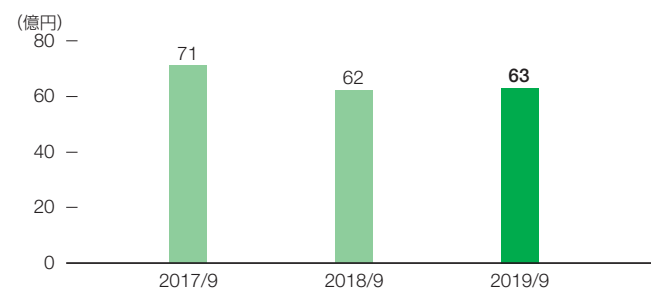
#### 親会社株主に 帰属する中間純利益

63億円  
(前年同期比 3億円減少)



#### 中間純利益

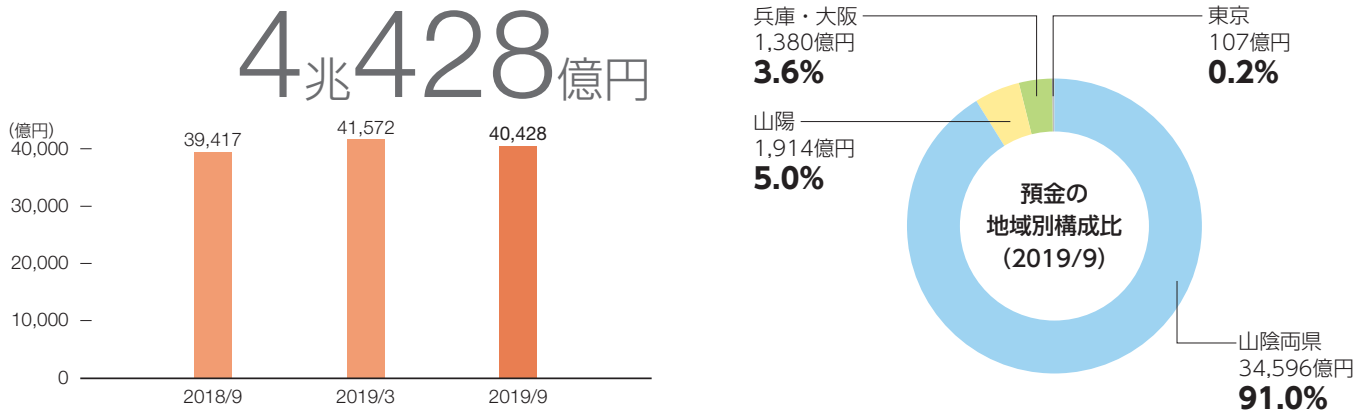
63億円  
(前年同期と同水準)



## 主要勘定の状況 (単体)

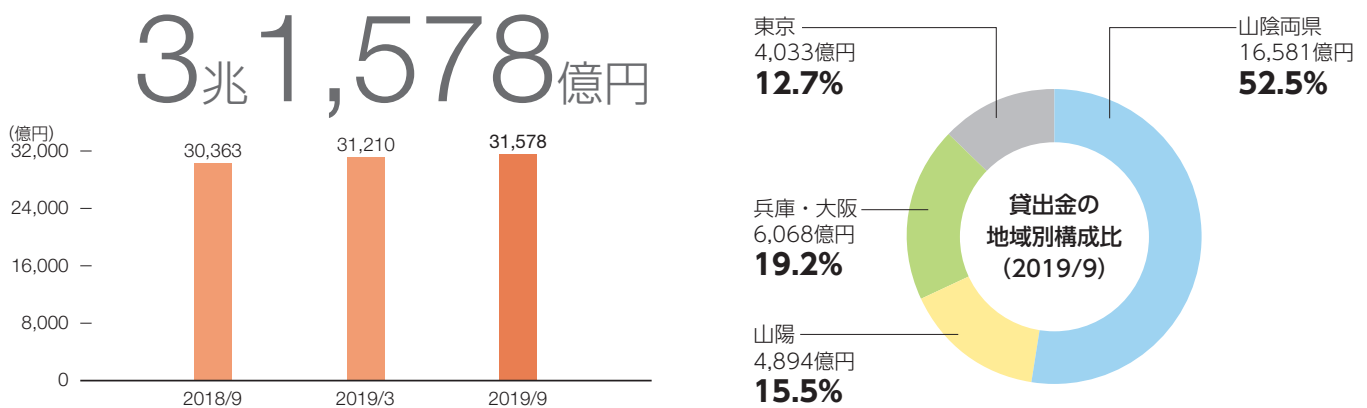
### 預金等\* (期末残高) ※ 預金+譲渡性預金

個人預金及び法人預金が増加した一方で、公金預金及び金融機関預金が減少したことに加え、譲渡性預金が減少したことにより、前期末比1,144億円減少の4兆428億円となりました。



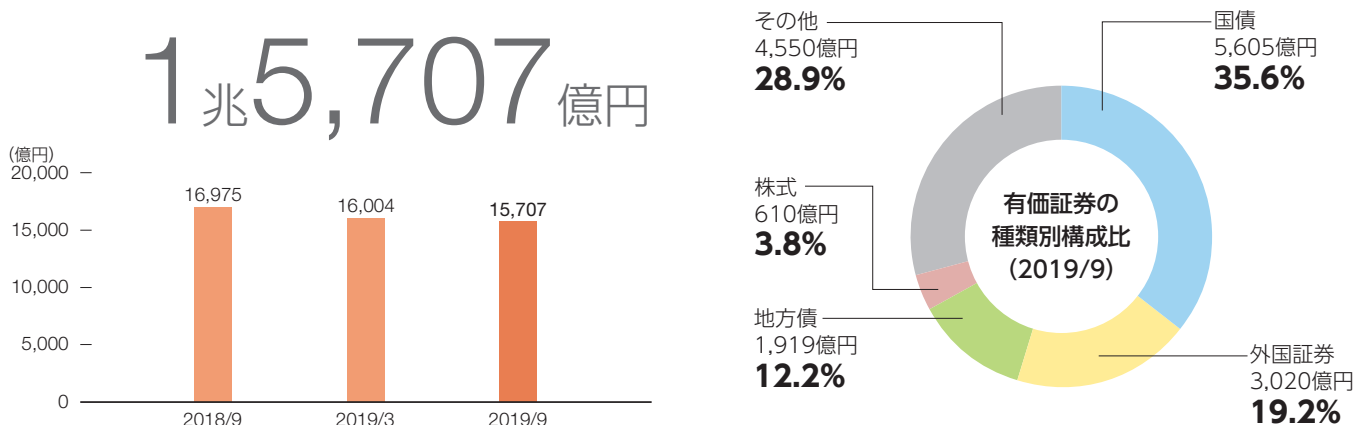
### 貸出金 (期末残高)

住宅ローンなどの個人向け貸出が増加したほか、法人向け貸出も増加したことから、前期末比367億円増加の3兆1,578億円となりました。



### 有価証券 (期末残高)

日本国債への再投資が難しいなかで、リスクを見極めながらポートフォリオの入れ替えを行ったことなどから、前期末比297億円減少の1兆5,707億円となりました。



# 財務ハイライト

## 安全性・健全性の状況

### 自己資本比率

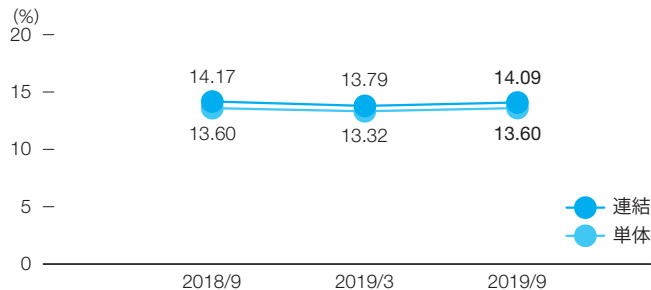
単体ベース  
(国内基準) **13.60%**

自己資本比率は、引き続き高い水準を確保しています。

#### ● 自己資本比率

銀行の健全性を測る代表的な指標の一つです。

国内基準は4%以上を維持することが求められています。



### 格付(単体):格付機関から安全性に高い評価 (2019年12月末現在)

**A3**  
(長期預金格付)

ムーディーズ・ジャパン(株)(Moody's)

当行はムーディーズ・ジャパン(株)(Moody's)から長期預金格付「A3」を、(株)格付投資情報センター(R&I)から発行体格付「A+」を、(株)日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付「AA-」の高い格付をそれぞれ取得しています。

**A+**  
(発行体格付)

(株)格付投資情報センター(R&I)

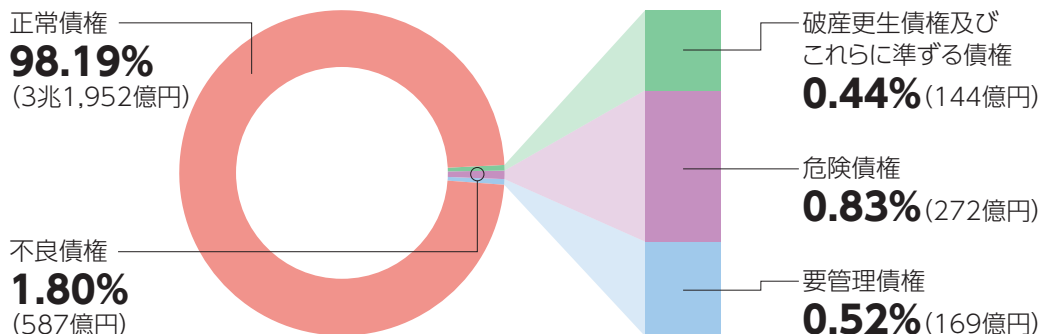
#### ● 格付

企業の信用度や安全性を示す代表的な指標で、預金や債券などの元利金が約定どおりに支払われるかどうかを公正な第三者機関が客観的に評価し、その程度を簡単な記号で表したものです。

**AA-**  
(長期発行体格付)

(株)日本格付研究所(JCR)

### 不良債権の状況(単体)



### 担保・貸倒引当金によるカバー率

(単位:億円)

	金融再生法 開示債権(A)	保全額(B) (①+②)	担保等による保全額①		貸倒引当金残高②	カバー率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	144	144	51	93	100.00%	
危険債権	272	242	149	93	88.91%	
要管理債権	169	62	32	30	36.71%	
合計	587	449	233	216	76.55%	